

志小安全・防災だより



バックナンバーは本校 Web ページ (右の QR コード) でご覧いただけます。

R2. 9. 11 No.23
安全・防災担当: 早坂 潤

土砂災害警戒情報と大雨洪水警報が、出されました

9月5日(土)は、朝方から雷が激しく、8時半過ぎに南三陸町に土砂災害警戒情報の緊急速報が出されました。1時間当たりの雨量は、このとき、観測史上最大の1時間当たり56ミリを記録したそうです(ふつう、やや強い雨で1時間当たり10ミリ以上、20ミリ未満)。暖かく湿った空気の影響で大気の状態が不安定となり、局地的な雷や大雨になったとのことでした。この大雨のため入谷地区に避難勧告が出され、入谷小学校と入谷公民館に避難所が開設されました。旭ヶ丘の教職員宿舎前の水路は雨水で一杯になり、水が吹き出しており、その他のところも道路の真ん中に雨水と一緒に石が流されてきていました。11時過ぎに避難勧告は解除されましたが、これからの季節、局地的豪雨や台風の通過による土砂災害や水害に対する備えが必要となってきます。水、食料等はもちろんのこと、道路が通行止めになったときの帰宅ルートの確認、停電への備えなど、今のうちから考えておかなければならないことがたくさんあります。昨年の台風19号通過時には、志津川小学校の体育館も避難所となり、夜中に避難された方もいました。今年も避難所として体育館を開放することを視野に入れた備えを行っていきます。



旭ヶ丘の道路は、道路脇の水路が大雨により一杯になり、水路の蓋から雨水が勢いよくあふれ出ており、一部が川のような様子でした。



水尻川も大雨により、水量がかなり増えていました。八幡川沿いの電光掲示板には、大雨洪水警報発令中の文字が掲げられました。

道路横断時は「必ず一度止まって左右確認」をします



4年生の安全タイムでの指導

学校前の道路は、登校時は左右から来る車の様子は見えるのですが、学校側から横断する際に、カーブになっている部分と坂のために見通しが悪くなります。子供たちには横断する際には必ず止まって左右確認をすることを話しています。



何が危険なのかの書き出し